

科目名	パソコンスキル	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	officeソフト（Word、Excelなど）を使用し、各種POPの作成ができる							
授業の一般目標	トリミングサロンや動物病院などでの院内掲示物の作成ができるようになる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	必要に応じてプリントを配布							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点 POPの目的を説明できる。								
□ 思考・判断の観点 どうすればお客様に見てもらえるかというお客様視点を習得する								
□ 関心・意欲の観点 デザインセンスについて関心をもつ								
□ 態度の観点								
□ 技能・表現の観点 パソコンの基本的な使用方法が理解できる。								
授業計画（全体） 毎回テーマを設け、そのテーマに沿ったPOPを時間内に作成してもらう								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	季節のイベントのご案内							
3～4	限定サービス・限定商品のご案内							
5～6	開店・閉店のおしらせ							
7～8	アルバイト・社員募集							
9～10	メニュー・料金表							
11～12	商品紹介							
13～14	ブライスカード							
15～16	案内状							
17～18	ショップカード							
19～20	名刺							
21～22	ポイントカード							
23～24	クーポン券							
25～26	アンケート用紙①							
27～28	アンケート用紙②							
29～30	まとめ							
成績評価方法								
1 課題と出席率								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度				○			40	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○						60	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員		澤井 直美		実務経験紹介				

科目名	ビジネスマナーⅠ		単位数	2	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	1年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	○		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・ 接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人格のマナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・ 敬語、ビジネス電話応対、手紙の書き方、Eメール送信の基礎を指導します。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、電話応対模擬機材、便せん、封筒、切手							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
□ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
□ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
□ 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・身だしなみを身につける							
□ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画（全体）	教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 応対は模擬応対機を使用し、実務に即した応対を指導します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。							
						特に電話		
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	第1章 社会人としての心構え1（接遇の基本理念・礼儀・マナー・CS思考）							
3～4	第1章 社会人としての心構え2（報告・連絡・相談），3							
5～6	第3章 言葉遣いの基本 1（日本語の特性、接客8大用語、クッション言葉）							
7～8	第3章 言葉遣いの基本 2							
9～10	第3章 言葉遣いの基本 3							
11～12	手紙の書き方 お礼状・お詫び状							
13～14	第5章 電話応対 1,2 資料編1 発声練習、2滑舌の練習							
15～16	第5章 電話応対 2,ロールプレイング3							
17～18	第5章 電話応対 3,4							
19～20	第5章 電話応対 ロールプレイング4							
21～22	第5章 電話応対 5,ロールプレイング5							
23～24	第5章 電話応対 ケーススタディ3							
25～26	第5章 電話応対 6,（クレーム対応）							
27～28	第5章 電話応対 6,（Eメール）							
29～30	前期試験実施							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記）と出席率								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎			秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○						優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	江見恵子・池田美和子			実務経験紹介	https://urbanemi.com/			

科目名	ビジネスマナーⅡ		単位数	2	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	1年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	○		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・ 来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・ 冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点		社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解						
□ 思考・判断の観点		社会人として常識的な行動・言動を習得する						
□ 関心・意欲の観点		物事に積極的に取り組む意欲を養う						
□ 態度の観点		社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける						
□ 技能・表現の観点		正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める						
授業計画（全体）								
教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用してのロールプレイングも実施します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。					名刺交換			
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	第4章 来客応対 1, 2							
3～4	第4章 来客応対 ロールプレイング1							
5～6	第4章 来客応対 4, ロールプレイング2							
7～8	第4章 来客応対 5, ケーススタディ1							
9～10	第4章 来客応対 6							
11～12	第4章 来客応対 7, 9, 10							
13～14	第4章 来客応対 8, ケーススタディ2							
15～16	第6章 訪問のマナー1, ロールプレイング6							
17～18	第6章 訪問のマナー2							
19～20	第6章 訪問のマナー ロールプレイング7、名刺							
21～22	第6章 訪問のマナー3, 資料編3							
23～24	資料編4、5							
25～26	ビジネス文書							
27～28	個人情報保護法							
29～30	後期試験実施							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記）と出席率								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	江見恵子・池田美和子			実務経験紹介	https://urbanemi.com/			

科目名	動物繁殖学	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定）	犬や猫の繁殖生理について学ぶ。解剖学から新生児管理までを学ぶ。 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	犬と猫の生殖方法を知り、繁殖について知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） 伴侶動物解剖生理学（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	犬や猫の繁殖生理を知る							
☐ 思考・判断の観点	正常と異常を知る							
☐ 関心・意欲の観点	犬や猫の繁殖に関心を持つ							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	テキストを用いて進める。性の発生から解剖学を学び、繁殖を学ぶ。							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1～2	雄の生殖器の解剖（犬・猫）							
3～4	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
5～6	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
7～8	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
9～10	性に関するホルモンと発生							
11～12	確認テスト							
13～14	避妊去勢							
15～16	出産と新生児管理							
17～18	新生児保育と発達							
19～20	生殖器の疾患（雄）							
21～22	生殖器の疾患（雄）							
23～24	生殖器の疾患（雌）							
25～26	生殖器の疾患（雌）							
27～28	遺伝性疾患							
29～30	単元末試験							
成績評価方法	1単元末試験 2 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○	○	○					優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞	実務経験紹介		動物病院勤務歴12年 認定動物看護師				

科目名	動物看護学概論Ⅰ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1 年生前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物業界で扱うことの多い犬と猫についての知識を深める。正常や正しい扱いを知ること、今後の安全な実習につなげる。 目標検定試験：小動物看護士、ペット販売士、トリマー 2 級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	犬と猫の違いがわかり、安全な扱い方がわかる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書 1 ～ 6 （緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 犬と猫の違いがわかり、正常を知る								
☐ 思考・判断の観点 正しい扱い方を自ら実行できる								
☐ 関心・意欲の観点 犬と猫に興味を持ち、自ら進んで調べることができる								
☐ 態度の観点 犬や猫と積極的に関わることができる								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める。扱うことの多い犬や猫の違いを学び、その後それらの動物について深く学んでいく。動物看護の観点から、トリマーも出会うであろう医療的な現場についても学んでいく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	動物看護学とは							
3～4	犬とは							
5～6	猫とは							
7～8	犬と猫の違い							
9～10	犬と猫の違い							
11～12	適切な飼育							
13～14	犬と猫の行動学							
15～16	正常（バイタル）							
17～18	保定法							
19～20	保定法							
21～22	季節に合わせた飼育法と注意							
23～24	季節に合わせた飼育法と注意							
25～26	老齢動物の管理							
27～28	救急救命							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎	◎				100%	秀、S（4）：9 0 点以上
小テスト								優、A（3）：8 0 点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：7 0 点以上
授業態度								可、C（1）：6 0 点以上
発表・作品								不可、E（0）：5 9 点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はG P A 点数
担当教員		引地 舞			動物病院勤務歴 1 2 年 認定動物看護師			

科目名	動物看護学概論Ⅱ			単位数	2	科目コード		
授業形態	講義			時間数	30	開設期	1年生後期	
受講条件				開設時期		教員実務経験対象	○	
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	身近な医療から学んでいく。患者として出会う動物医療を学ぶことで、動物医療に興味を持つ。 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー２級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	1)一般的な動物看護について知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書１～６（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点　身近な医学医療に興味を持つ								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点　動物が受ける医療に関心を持ち知ろうとすることができる								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める。身近な医学から学んでいく。自分の周りにあるものから学び、自分や動物たちが受ける医療についてを知る。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等				授業外学習の指示等		授業の記録	
1～2	薬剤の形状							
3～4	薬剤の形状							
5～6	身近な薬剤の種類							
7～8	身近な薬剤の種類							
9～10	注射法と薬剤							
11～12	注射法と薬剤							
13～14	点滴法と薬剤							
15～16	点滴法と薬剤							
17～18	動物病院で看護師が行う検査の種類と方法１							
19～20	動物病院で看護師が行う検査の種類と方法２							
21～22	動物病院で看護師が行う検査の種類と方法３							
23～24	動物病院で看護師が行う検査の種類と方法４							
25～26	疼痛管理（ペインスケール）とは							
27～28	疼痛管理について							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				100%	秀、S（４）：９０点以上
小テスト								優、A（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、B（２）：７０点以上
授業態度								可、C（１）：６０点以上
発表・作品								不可、E（０）：５９点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（　）内はGPA点数
担当教員	引地　舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴１２年　認定動物看護師			

科目名	動物医療関連法規		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	1 年生後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象			
授業概要（目的、目標とする資格・検定）	動物に関わる法規、労働に関わる法規について学ぶ 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー２級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物に関わる法律についてわかる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書１～６（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物に関わる法律がわかる							
☐ 思考・判断の観点	ケースにあった法律がわかる							
☐ 関心・意欲の観点	法規について興味を持ち学ぶ							
☐ 態度の観点	積極的に学ぶ姿勢がる							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	テキストを用いて進めていく 法律の作られた理由や背景から学び、内容を学ぶ							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	法律とは							
3～4	動物愛護法 1							
5～6	動物愛護法 2							
7～8	動物愛護法 3							
9～10	ワシントン条約、ラムサール条約							
11～12	絶滅危惧種について							
13～14	鳥獣保護法							
15～16	外来生物 1							
17～18	外来生物 2							
19～20	狂犬病予防法、身体障害者補助犬法							
21～22	薬機法、麻薬及び向精神薬取締法							
23～24	感染症法、家畜伝染病予防法							
25～26	獣医師法、獣医療法							
27～28	個人情報保護法、廃棄物処理法、労働基準法、労働安全法							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1小テスト								
2単元末試験								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					30%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○				（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介				

科目名	動物福祉・倫理	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1 年生前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定）	社会問題となっている動物の福祉倫理について学び、動物を扱う事について考える 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物の福祉倫理について自分の考えを持つことができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物の福祉倫理についての現状を知っている							
☐ 思考・判断の観点	動物の福祉倫理について自分の考えを言う事ができる							
☐ 関心・意欲の観点	動物の福祉倫理や愛護について積極的な関心を示すことができる							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	テキストを用いて現在の動物福祉倫理についてを学ぶ。その後、内容に合わせた映像を活用し、自ら考え、グループワークなどを用いて各自の考えを教習してもらう。単元末テストでは主に考え方や意識について問う。							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1～2	動物福祉とは何か							
3～4	動物福祉とは、動物看護師倫理綱領							
5～6	動物福祉とは、動物の愛護、動物の権利							
7～8	動物福祉とは、5つの自由、3 R							
9～10	動物福祉とは、展示動物、実験動物							
11～12	安楽死について							
13～14	動物愛護とは何か							
15～16	保健所、動物愛護施設							
17～18	飼育崩壊の現状（多頭飼育、増殖）							
19～20	地域猫とは							
21～22	ペットショップは必要か							
23～24	災害動物							
25～26	ボランティア							
27～28	実験動物							
29～30	単元末テスト							
成績評価方法	1単元末テスト 2 3 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞		実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 認定動物看護師				

科目名	動物臨床栄養学・基礎		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	1年生後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	無		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	動物の食について学ぶ 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	ペットの食や栄養を知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） 犬と猫の栄養学（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物の食事や栄養について知る							
☐ 思考・判断の観点	動物それぞれの必要な栄養素がわかる							
☐ 関心・意欲の観点	動物の栄養について興味を持ち学ぶ							
☐ 態度の観点	積極的に学ぶ姿勢がある							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	テキストを用いて進める 五大栄養素について学び、犬と猫の栄養における相違点を学ぶ。BCSや給与法、おやつについても学ぶ							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	栄養学総論							
3～4	栄養学各論 炭水化物							
5～6	栄養学各論 ミネラル、脂質1							
7～8	栄養学各論 脂質2、ビタミン							
9～10	栄養学各論 タンパク質							
11～12	犬と猫の食性の違い エネルギー1							
13～14	犬と猫の食性の違い エネルギー2							
15～16	ペットフード1							
17～18	ペットフード2 BCS							
19～20	食事の給与方法							
21～22	ライフステージ1							
23～24	ライフステージ2							
25～26	病態に応じた食事管理1							
27～28	病態に応じた食事管理2							
29～30	単元末テスト							
成績評価方法 1単元末試験 2小テスト 3冬休みの課題 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					30%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○				（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介				

科目名	ドックトレーニング	単位数	2	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1 年生前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬のしつけ（実技）を学ぶ							
授業の一般目標	歩く、触ることができるようにする							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 犬のしつけ、訓練について説明ができる								
☐ 思考・判断の観点 その犬に対してどのようなしつけ方法が合うかを考える事ができる								
☐ 関心・意欲の観点 犬の行動について理由を考えることができる								
☐ 態度の観点 どのような犬でも冷静に対処できる								
☐ 技能・表現の観点 自信をもってどのような性格の犬でもしつけできるようになる								
授業計画（全体）								
座学にて全体の流れ、犬の習性や本能について学んだあと、実際に犬を使って実技を行う								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	犬の本能について（座学）							
5～8	犬の習性について（座学）							
9～12	「歩く」練習 1							
13～16	「歩く」練習 2							
17～20	「歩く」練習 3							
21～24	「触る」練習 1							
25～28	「触る」練習 2							
29～32	実技試験							
成績評価方法								
1単元末の実技試験								
2授業態度や積極性								
3出席率								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		80	秀、S（4）：9 0 点以上
小テスト								優、A（3）：8 0 点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：7 0 点以上
授業態度	○				◎		10	可、C（1）：6 0 点以上
発表・作品								不可、E（0）：5 9 点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			10	（ ）内はG P 点数
担当教員	末岡 賢志			実務経験紹介	訓練士歴 19年 ドッグスクールSue http://dogschoolsue.com/			

科目名	ペット一般教養	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年生・前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象				
授業概要（日時、目標とする資格・検定）	動物の基礎知識を覚える トリマー・動物看護師・ショップ店員等になる為に、必要な基礎(犬体学、犬種学等)							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	日本ペット技能専門学校協会（ペット美容学、ペット経営学、ペット社会学、動物看護学）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	犬体や犬種の特徴を理解する							
☐ 思考・判断の観点	骨格を理解した上で、グルーミングで犬を扱えるようになる							
☐ 関心・意欲の観点	犬種の特徴や行動に興味を持って接することが出来るようになる							
☐ 態度の観点	グループワークなどで、チームワークや協力性を養う							
☐ 技能・表現の観点	グループワークで作成し、表現する							
授業計画（全体）								
グループで協力しながら、全員が理解する（協調性、創作性の向上）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～2	犬体学(骨格)							
3～4	犬体学(骨格)							
5～6	犬種学（グループワーク）							
7～8	犬種学（グループワーク）							
9～10	専門用語（グループワーク）							
11～12	専門用語（グループワーク）							
13～14	中間の復習学							
15～16	中間の復習学							
17～18	犬種の絵を書く							
19～20	犬種の絵を書く							
21～22	動物の健康管理・病気予防							
23～24	動物の健康管理・病気予防							
25～26	全ての復習学							
27～28	全ての復習学							
29～30	期末試験							
成績評価方法								
1 期末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	西田 八千代			実務経験紹介				

科目名	ペット検定対策Ⅰ		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	1年生後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	動物について、広い知識を学ぶ 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー２級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	日本ペット技能専門学校協会「ペット美容学」「動物看護学」「ペット社会学」「ペット経営学」							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 動物について理解する								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキスト、過去問題を用いて内容を理解する								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～60	テキストを用いて、過去問題集から正解を理解する							
成績評価方法								
1 期末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員		西田 八千代		実務経験紹介				

科目名	動物形態機能学		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	1 年生前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	無		
授業概要・目的、目標とする資格・検定	動物の形態機能を知り、動物医療を学ぶ上での基礎を構築する 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	犬猫の形態機能を知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） ビジュアルで学ぶ伴侶動物解剖生理学（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物の形態機能を知る							
☐ 思考・判断の観点	正常異常の判断ができる							
☐ 関心・意欲の観点	形態機能や生理機能について関心を持つ							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	テキストを用いて進める 高校の復習を行い、その後各臓器を学ぶ 小テストを入れながら知識の定着を図る							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～4	高校の生物の振り返り							
5～8	高校生物のまとめ							
9～12	感覚器（眼、耳、鼻、舌）							
13～16	呼吸器							
17～20	血液、リンパ、免疫①							
21～24	免疫②、肝臓①							
25～28	肝臓②、胆のう							
29～32	腎臓							
33～36	消化器系							
37～40	心臓							
41～44	神経系							
45～48	内分泌系							
49～52	歯、皮膚							
53～56	骨、筋肉							
57～60	単元末試験							
成績評価方法	1確認テスト 2単元末テスト 3宿題授業外レポート 4							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○	◎	◎			30%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート			○	◎			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度							10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○				（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介				

科目名	動物感染症学・基礎		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	1 年生前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	無		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	感染症を防ぎ治療するために病原体の種類や特徴、感染方法や特徴的な症状を知る 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物の感染症を正しく知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物の感染症について知る							
☐ 思考・判断の観点	動物の感染症を見分けることができる							
☐ 関心・意欲の観点	動物の感染症について興味を持ち学ぶ							
☐ 態度の観点	積極的に学ぶ姿勢がある							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める 基礎用語を学び、代表的な犬猫の感染症について学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～4	ガイダンス 総論1							
5～8	ガイダンス 総論2							
9～12	ウイルス各論							
13～16	細菌							
17～20	細菌							
21～24	真菌、リケッチャ							
25～28	ワクチンについて							
29～32	寄生虫とは何か							
33～36	条虫							
37～40	吸虫							
41～44	原虫							
45～48	外部寄生虫症1							
49～52	外部寄生虫症2							
53～56	外部寄生虫症3							
57～60	単元末試験、解答解説							
成績評価方法								
1小テスト 2単元末試験 3夏休みの課題 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					20%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			15%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品			○				5%	不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席			○					（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介				

科目名	トリミング実習Ⅰ（基礎）		単位数	16	科目コード			
授業形態	演習		時間数	240	開設期	1年生前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	○		
授業概要（目的、目標とする資格・検定）	グルーミングの基礎、トリミングの基礎を身につける 犬と猫の扱い方、接し方、保定の仕方を体得する							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	日本ペットビジネススクール協会(ペット美容学) J K C 最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	毎回の技術演習で扱い方や接し方を理解する							
☐ 思考・判断の観点	毎回の技術演習で時間短縮を意識する							
☐ 関心・意欲の観点	犬種や個体の違いを考える							
☐ 態度の観点	教材犬・猫への接し方で負担を軽減する							
☐ 技能・表現の観点	トリミングでカット方法の違いを理解する							
授業計画（全体）	グルーミングの基礎・トリミングの基礎が出来る							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～8	グルーミング基礎(座学) 犬の扱い方、接し方(実演) 道具の扱い方等							
9～240	グルーミング基礎(実習)							
成績評価方法								
1 演習								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100%	未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	西田 八千代 他			実務経験紹介	現役トリマー、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	トリミング実習Ⅰ（応用）	単位数	16	科目コード				
授業形態	演習	時間数	240	開設期	1年生後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	グルーミングの応用、トリミングの応用を身につける 犬と猫の扱い方、接し方、保定の仕方を体得する							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	日本ペットビジネススクール協会(ペット美容学) J K C 最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 毎回の技術演習で扱い方や接し方を理解し、時間短縮出来る								
☐ 思考・判断の観点 毎回の技術演習で時間短縮を意識する								
☐ 関心・意欲の観点 犬種や個体の違いを考え、扱うことが出来、時間短縮できる								
☐ 態度の観点 教材犬・猫への接し方で負担を軽減し、時間短縮出来る								
☐ 技能・表現の観点 トリミングでカット方法の違いを理解し、時間短縮出来る								
授業計画（全体） グルーミングの応用・トリミングの応用が出来る								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～240	グルーミング応用(実習)							
成績評価方法 1 演習 2 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100%	未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はG P A点数
担当教員		西田 八千代		実務経験紹介				

科目名	インターンシップ I	単位数	1	科目コード				
授業形態	実習	時間数	30	開設期	1 年生前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象				
授業概要(目的、目標とする資格・検定等)	実習を通じ、就職意識を高める 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー2級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	現場での実習体験を通じ、自分の適性を確認できるようになる。 働くことの意味と厳しさ、楽しさを体感し、自分の就職活動の幅を広げる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体） 事前指導を行ってから実習に行く。実習後にお礼状を作成。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1～15	外部企業での実習							
16～30	外部企業での実習							
成績評価方法								
1評価報告書により評価								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度	◎	◎	◎	◎	◎		60%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席			○	◎			40%	（ ）内はGPA点数
担当教員				実務経験紹介				

科目名	動物薬理学 I	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2 年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	薬物について学び、代謝や薬理作用を知る。 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物医療で使用する薬剤について知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書 1～6（緑書房） 犬と猫の臨床薬理ハンドブック（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	薬物の種類と効能について知る							
☐ 思考・判断の観点	疾患名を聞き最適な薬剤を選ぶことができる							
☐ 関心・意欲の観点	薬剤に興味を持つ							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	薬剤についてテキストを用いて学ぶ。薬剤の基礎について学んだ後に、代表的な薬剤について学ぶ。							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～2	薬理学とは							
3～4	薬物の投与について（内服、外用、注射）							
5～6	薬物循環							
7～8	薬物の効果に影響を与える因子							
9～10	自律神経作用薬							
11～12	抗生剤							
13～14	ステロイド剤							
15～16	ステロイド剤							
17～18	非ステロイド剤							
19～20	循環器疾患の薬剤							
21～22	抗てんかん薬							
23～24	抗がん剤							
25～26	麻酔薬							
27～28	薬容量の計算							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1 単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				100%	秀、S（4）：90点以上 優、A（3）：80点以上 良、B（2）：70点以上 可、C（1）：60点以上 不可、E（0）：59点未満 未修得、履修放棄、F （ ）内はGPA点数
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度								
発表・作品								
演習								
出席								
担当教員	鈴木 和弘			実務経験紹介	ナナ動物病院 院長			

科目名	動物外科看護学Ⅰ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物病院に必要な外科の領域について学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	1)外科に必要な検査について知る 2)手術準備について知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書１～６（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 動物病院における外科領域に対応できる								
☐ 思考・判断の観点 外科疾患において必要な検査のチョイスができる								
☐ 関心・意欲の観点 外科疾患について関心を持つ								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める。各項目で必要な器具を示しながら、実際の使い方なども説明する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	外科とは							
3～4	レントゲン検査							
5～6	レントゲン検査							
7～8	レントゲン検査							
9～10	エコー検査							
11～12	エコー検査							
13～14	確認テスト							
15～16	消毒法							
17～18	縫合							
19～20	外科器具							
21～22	外科手術の流れ							
23～24	麻酔管理							
25～26	麻酔モニタリング							
27～28	麻酔モニタリング							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				100%	秀、S（４）：９０点以上
小テスト								優、A（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、B（２）：７０点以上
授業態度								可、C（１）：６０点以上
発表・作品								不可、E（０）：５９点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（　）内はGPA点数
担当教員		鈴木　和弘		実務経験紹介		ナナ動物病院　院長		

科目名	動物臨床看護学総論		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	2年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	動物看護師の役割について知り、動物看護記録が作成できる 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物看護の手順を知り組み立てる事ができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書１～６							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物看護師がどんな職業かが説明できる							
☐ 思考・判断の観点	看護の手順を立てられる							
☐ 関心・意欲の観点	率先して看護過程を立てられる							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める。 例題を基に、実際に看護過程や問診樹状図などを作成。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	動物看護師の歴史							
3～4	動物看護師の倫理綱領							
5～6	ヒューマンアニマルボンド							
7～8	アニマルセラピー							
9～10	インフォームドコンセントとセカンドオピニオン							
11～12	ペットロスサポート							
13～14	動物看護過程とは							
15～16	動物看護記録							
17～18	動物看護記録を作る							
19～20	動物看護記録を作る							
21～22	動物看護記録を作る							
23～24	問診樹状図							
25～26	問診樹状図							
27～28	単元末試験							
29～30	解答解説							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎	◎				100%	秀、S（４）：９０点以上
小テスト								優、A（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、B（２）：７０点以上
授業態度								可、C（１）：６０点以上
発表・作品								不可、E（０）：５９点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴１２年			認定動物看護師

科目名	動物医療コミュニケーション		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	2年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	院内コミュニケーションやクライアントエディケーションについて、ロールプレイングを用いて学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	クライアントエディケーションについて知り正しく実行できる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書１～６（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 クライアントエディケーションとは何かを知る								
☐ 思考・判断の観点 疾患ごとにクライアントエディケーションができる								
☐ 関心・意欲の観点 患者さんに教える立場であることを理解し、考えることができる								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体） 院内コミュニケーションについてテキストを用いて進める。その後クライアントエデュケーションについて学ぶ。 受付及びクライアントエデュケーションについてロールプレイングを用いて実践していく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	院内コミュニケーションとは							
3～4	受付のコミュニケーション実践（ＡＬ）							
5～6	受付のコミュニケーション実践（ＡＬ）							
7～8	受付のコミュニケーション実践（ＡＬ）							
9～10	クライアントエディケーションとは							
11～12	疾病別クライアントエディケーション実践（ＡＬ）							
13～14	疾病別クライアントエディケーション実践（ＡＬ）							
15～16	疾病別クライアントエディケーション実践（ＡＬ）							
17～18	疾病別クライアントエディケーション実践（ＡＬ）							
19～20	疾病別クライアントエディケーション実践（ＡＬ）							
21～22	疾病別クライアントエディケーション実践（ＡＬ）							
23～24	疾病別クライアントエディケーション実践（ＡＬ）							
25～26	疾病別クライアントエディケーション実践（ＡＬ）							
27～28	実技試験前対策							
29～30	単元末試験（実技試験）							
成績評価方法 1単元末試験 2 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○		◎		100%	秀、S（４）：９０点以上 優、A（３）：８０点以上 良、B（２）：７０点以上 可、C（１）：６０点以上 不可、E（０）：５９点未満 未修得、履修放棄、F （　）内はG.P.A点数
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度								
発表・作品								
演習								
出席								
担当教員		引地　舞		実務経験紹介	動物病院勤務歴１２年　認定動物看護師			

科目名	公衆衛生学	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	無			
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	動物医療における公衆衛生について学ぶ。 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	公衆衛生とは何かを知り、知識を伝えることができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書１～６（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物を扱う上での公衆衛生が実践できる							
☐ 思考・判断の観点	常に公衆衛生を意識し行動ができる							
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）	テキストを用いて進める。 感染生物の構造から感染症について学ぶ。							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～4	公衆衛生の定義、獣医公衆衛生学の４つの柱について							
5～8	細菌について（種類、構造、増殖について）							
9～12	ウイルスについて（種類、構造、増殖について）							
13～16	真菌について（種類、構造、増殖について）							
17～20	人獣共通感染症について							
21～24	人獣共通感染症について							
25～28	人獣共通感染症について							
29～32	人獣共通感染症について							
33～36	人獣共通感染症について							
37～40	人獣共通感染症について							
41～44	獣医公衆衛生における環境衛生、食品衛生							
45～48	消毒、滅菌							
49～52	動物防疫学							
53～56	動物防疫学							
57～60	単元末試験、解答解説							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					100%	秀、S（４）：９０点以上 優、A（３）：８０点以上 良、B（２）：７０点以上 可、C（１）：６０点以上 不可、E（０）：５９点未満 未修得、履修放棄、F （ ）内はGPA点数
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度								
発表・作品								
演習								
出席								
担当教員	坂本 里江			実務経験紹介				

科目名	産業動物・実験動物	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要・目的、目標とする資格・検定	産業動物：産業動物の歴史や品種、使用管理法、おおよび畜産業など社会とのかかわりについて学ぶ／実験動物：実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験とのかかわりについて学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	授業概要を全般的に網羅し、基本的なことをまず理解する							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書・必要に応じてプリントで補強							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 実験動物の必要性と倫理観、それぞれの実験動物の役割や特徴について理解する／産業動物：産業動物とコンパニオンアニマルの違いを理解し、またそれぞれの産業動物の違いについても理解する								
☐ 思考・判断の観点 実験動物や産業動物の社会における役割や、コンパニオンアニマルとの違いを動物看護師の目線で理解する								
☐ 関心・意欲の観点 小動物臨床を将来希望する者も関心を持ち授業の望む								
☐ 態度の観点 小動物臨床を将来希望する者も関心を持ち授業に臨む								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
教科書の1単元が終わることに確認テストを行う								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1	実験動物の基礎／実験動物とは・歴史							
2	実験動物の品種、特徴、飼育管理、							
3	実験動物のコントロール、遺伝学的制御、微生物学的制御、環境制御							
4	実験動物終了テスト／産業動物の基礎							
5	産業動物とは／家畜の種類と特徴 総論							
6	産業動物とは／各論 牛・馬（飼養方法の違いも含む）							
7	産業動物とは／各論 鶏・豚（飼養方法の違いも含む）							
8	産業動物とは／解剖学							
9	産業動物の病気							
10	産業動物学終了テスト／展示動物とは・動物園や水族館の役割について							
11	野生動物とは／野生動物の基礎・分類と生物多様性							
12	絶滅危惧種について／関連する法律・保全方法など							
13	外来生物／定義・生態系に及ぼす影響・対策							
14	展示動物・野生動物終了テスト							
15	実験動物・産業動物・展示動物・野生動物のまとめ							
成績評価方法								
1 出席状況								
2 授業態度								
3 テストに対する努力・点数								
4 1～3の総合評価								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						50%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度				◎			25%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				◎			25%	（ ）内はGPA点数
担当教員	平松 育子			実務経験紹介	ふくふく動物病院 院長			

科目名	動物臨床看護学各論Ⅰ		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	2年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的・目標とする資格・検定）	一般動物医療で遭遇する確率の高い疾患について学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	疾患とその看護がわかる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） コンパニオンアニマルの疾患学入門（インターズー） 動物看護ハンドブック（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 動物の臨床看護に必要な知識を習得する								
☐ 思考・判断の観点 動物の呈する病態に関してどのように考え、現状把握し、どうしていくべきかを判断する能力を養う								
☐ 関心・意欲の観点 動物看護師として罹患動物の看護を実践的にとらえる眼を持てるように仕向ける								
☐ 態度の観点 自分の判断一つで病状が変わる恐れがあることを念頭に置き真剣に取り組む								
☐ 技能・表現の観点 積極的に自分の判断で動き、自分の言葉で表現する								
授業計画（全体） 全身状態について学び、その後疾患別に学ぶ。 内科疾患を学ぶと同時に、主要薬剤や、検査、療法食や看護についても学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～4	内科学と外科学の違い							
5～8	疾患とは何か							
9～12	代表的な兆候：全身徴候・							
13～16	代表的な徴候：特異的徴候							
17～20	特異的病態							
21～24	代表的な疾患：泌尿器疾患							
25～28	代表的な疾患：泌尿器疾患							
29～32	代表的な疾患：泌尿器疾患							
33～36	代表的な疾患：循環器疾患							
37～40	代表的な疾患：循環器疾患							
41～44	代表的な疾患：循環器疾患							
45～48	代表的な疾患：呼吸器疾患							
49～52	代表的な疾患：呼吸器疾患							
53～56	代表的な疾患：消化器疾患							
57～60	代表的な疾患：消化器疾患							
成績評価方法 1 出席状況 2 授業態度 3 テストに対する努力・点数 4 1～3の総合評価								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						50%	秀、S（4）：90点以上 優、A（3）：80点以上 良、B（2）：70点以上 可、C（1）：60点以上 不可、E（0）：59点未満 未修得、履修放棄、F （ ）内はGPA点数
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度				◎			25%	
発表・作品								
演習								
出席				◎			25%	
担当教員	平松 育子			実務経験紹介	ふくふく動物病院 院長			

科目名	ペット検定対策Ⅱ		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	2年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象			
授業概要（日時、目標とする資格・検定）	動物について、広い知識を学ぶ 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー２級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	日本ペット技能専門学校協会「ペット美容学」「動物看護学」「ペット社会学」「ペット経営学」							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 動物について理解する								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキスト、過去問題を用いて内容を理解する								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～60	テキストを用いて、過去問題集から正解を理解する							
成績評価方法								
1								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員		西田 八千代		実務経験紹介				

科目名	トリミング実習Ⅱ			単位数	8	科目コード		
授業形態	演習			時間数	120	開設期	2年前期	
受講条件				開設時期		教員実務経験対象		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定)	基礎技術習得後、高度技術を実習で鍛え磨く 特種犬種のトリミング技法の習得(ミニチュア・シュナウザー、アメリカン・コッカー・スパニエル)							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について(テキスト・参考書等)	J K C最新ドッググルーミングマニュアル等							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	犬種標準を理解して、トリミングが出来る							
☐ 思考・判断の観点	犬種の体調を考えて、トリミングが出来る							
☐ 関心・意欲の観点	就職を意識して、時間短縮ができる							
☐ 態度の観点	教材犬の負担を考慮したトリミングができる							
☐ 技能・表現の観点	犬種の個性に応じた、トリミングが出来る							
授業計画(全体)								
多種・多様なトリミング技術の習得								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等			授業の記録	
1～120	グルーミング、トリミング技術の向上と時間内作業終了							
成績評価方法								
1								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S(4)：90点以上
小テスト								優、A(3)：80点以上
宿題授業外レポート								良、B(2)：70点以上
授業態度								可、C(1)：60点以上
発表・作品								不可、E(0)：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎			未修得、履修放棄、F
出席								()内はGPA点数
担当教員	西田 八千代			実務経験紹介				

科目名	動物臨床検査学		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	2年前期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	動物看護師が行う臨床検査について学ぶ 動物病院で行っている臨床検査について学ぶ							
授業の一般目標	臨床検査の正しい手順を知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護実習テキスト 動物看護の教科書1～6							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物病院で行っている臨床検査について知る							
☐ 思考・判断の観点	適切な検査をチョイスすることができる							
☐ 関心・意欲の観点	動物病院で行う検査について関心を持ち自ら調べることができる							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める。 各検査ごとにその手順や方法、正常と異常について学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～4	動物病院で行う検査とは							
5～8	動物看護師が行う臨床検査とは							
9～12	便検査							
13～16	尿検査							
17～20	耳垢検査							
21～24	皮膚検査							
25～28	眼科検査							
29～32	確認テスト、解答解説							
33～36	血液検査（CBC）							
37～40	血液検査（生化学）							
41～44	その他の血液検査（塗抹、百分比、アレルギー検査）							
45～48	レントゲン検査と保定							
49～52	エコー検査と保定							
53～56	単元末試験							
57～60	解答解説と実習に向けて							
成績評価方法								
1確認テスト								
2単元末試験								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○				80%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	◎	○				20%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴12年			認定動物看護師

科目名	動物看護総合実習Ⅰ	単位数	4	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬や猫を扱って一般身体検査を行う事により、正常異常を判断する感覚を養う 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	犬や猫の正常と異常がわかるようになる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） 動物看護実習テキスト（インターズー） 楽しく学べる動物看護（インターズー）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 犬と猫の正常と言える								
☐ 思考・判断の観点 犬と猫の正常異常が判断できる								
☐ 関心・意欲の観点 様々な品種の一般身体検査を行う								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
初めに座学にて実習概要を説明、その後モデル犬を用いた一般身体検査を行う。最初の2回程度は2～3人組で行い、その後1人で行う。 時間制限なしで正確に行う事に重点を置き、1頭ごとに確認を行う。 夏のインターンシップに向けて、駆血など病院で必要な保定を取り入れて実習を行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	一般身体検査とは何か、カルテの書き方							
5～12	犬または猫を用いた一般身体検査（2人で1頭）							
13～40	犬または猫を用いた一般身体検査（1人で1頭～2頭）							
41～52	犬または猫を用いた保定法（採血）							
53～56	単元末試験（実技）							
57～60	単元末試験（筆記）							
成績評価方法								
1単元末試験（実技・筆記）								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員		引地 舞		実務経験紹介		動物病院勤務歴12年 認定動物看護師		

科目名	インターンシップⅡ	単位数	2	科目コード				
授業形態	実習	時間数	60	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象				
授業概要(目的、目標とする資格・検定等)	実習を通じ、就職意識を高める 目標検定試験：小動物看護師、ペット販売士、トリマー２級、動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	現場での実習体験を通じ、自分の適性を確認できるようになる。 働くことの意味と厳しさ、楽しさを体感し、自分の就職活動の幅を広げる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体） 事前指導を行ってから実習に行く。実習後にお礼状を作成。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1～30	外部企業での実習							
31～60	外部企業での実習							
成績評価方法								
1評価報告書により評価								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度	◎	◎	◎	◎	◎		60%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席			○	◎			40%	（ ）内はGPA点数
担当教員				実務経験紹介				

科目名	インターンシップⅢ	単位数	1	科目コード				
授業形態	実習	時間数	30	開設期	2年前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (日時、目標とする資格・検定等)	実習を通じ、就職意識を高める 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	現場での実習体験を通じ、自分の適性を確認できるようになる。 働くことの意味と厳しさ、楽しさを体感し、自分の就職活動の幅を広げる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体） 事前指導を行ってから実習に行く。実習後にお礼状を作成。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～30	外部企業での実習							
成績評価方法								
1評価報告書により評価								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度	◎	◎	◎	◎	◎		60%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席			○	◎			40%	（ ）内はGPA点数
担当教員				実務経験紹介				

科目名	動物病理学		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	2年後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定)	目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） 伴侶動物解剖生理学（緑書房） コンパニオンアニマルの疾患学入門（インターズー）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 病理学とは何かを理解する								
☐ 思考・判断の観点 健康な体がどのようにして病気を引き起こすのかを理解する								
☐ 関心・意欲の観点 難しい分野だが積極的に取り組めているか 理解しようと努力する								
☐ 態度の観点 難しい分野だが積極的に取り組めているか								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体） 細胞の構成から学び、正常異常を学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	病理学の基礎/病理学とは、標本作成方法、検査の実施手順							
3～4	細胞や組織に生じる変化：編成・壊死・アポトーシス・							
5～6	細胞や組織に生じる変化：再生・化生・過形成・肥大・低形成・萎縮							
7～8	1～3 終了テスト							
9～10	循環障害：充血とうっ血・出血・血栓							
11～12	循環障害：虚血と梗塞・浮腫と水腫・ショック・DIC							
13～14	循環障害終了テスト							
15～16	炎症：炎症の定義と5大徴候							
17～18	炎症の分類・原因特徴／炎症細胞と化学伝達物質							
19～20	炎症の経過と治癒／先天異常							
21～22	炎症終了テスト							
23～24	先天異常／染色体異常・遺伝子異常・奇形							
25～26	腫瘍：定義と分類・原因と発生機序							
27～28	腫瘍：宿主との関係・転移と進行							
29～30	単元末テスト							
成績評価方法 1 出席状況 2 授業態度 3 テストに対する努力・点数 4 1～3の総合評価								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						50%	秀、S（4）：90点以上 優、A（3）：80点以上 良、B（2）：70点以上 可、C（1）：60点以上 不可、E（0）：59点未満 未修得、履修放棄、F （ ）内はGPA点数
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度				◎			25%	
発表・作品								
演習								
出席				◎			25%	
担当教員		平松 育子		実務経験紹介		ふくふく動物病院 院長		

科目名	動物薬理学Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有			
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	動物医療で用いる薬剤を学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物医療で用いる薬剤がわかる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） 犬と猫の臨床薬理ハンドブック（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	各種薬の作用や種類・注意点について理解する							
☐ 思考・判断の観点	薬にはメリットとデメリットがあり、薬用量や副反応について理解する							
☐ 関心・意欲の観点	薬を使用する動物看護師として責任をもって薬に関わることを念頭に置いて取り組む							
☐ 態度の観点	真剣に取り組む							
☐ 技能・表現の観点	絶対に薬を間違えない、正確に取り扱えるような知識と技術を身につける							
授業計画（全体）	薬剤について学ぶ。 薬剤の作用、効果、副反応を学び代表的な薬剤名を学ぶ							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1～2	呼吸器系：呼吸興奮薬・鎮咳薬・気管支拡張薬							
3～4	呼吸器系：各種薬剤							
5～6	呼吸器系テスト							
7～8	消化器系：制吐薬・制酸薬・胃粘膜保護薬							
9～10	消化器系：消化管運動促進薬・止瀉薬・							
11～12	消化器系：肝疾患治療薬・胆汁素製剤							
13～14	消化器系テスト							
15～16	血液・免疫系：抗貧血薬・抗凝固剤							
17～18	血液・免疫系：止血薬・免疫抑制剤							
19～20	血液・免疫系テスト							
21～22	化学療法薬：抗菌薬							
23～24	化学療法薬：抗菌薬							
25～26	化学療法薬：抗真菌薬・殺虫剤							
27～28	化学療法薬：駆虫薬							
29～30	化学療法薬テスト							
成績評価方法 1 出席状況 2 授業態度 3 テストに対する努力・点数 4 1～3の総合評価								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						50%	秀、S（4）：90点以上 優、A（3）：80点以上 良、B（2）：70点以上 可、C（1）：60点以上 不可、E（0）：59点未満 未修得、履修放棄、F （ ）内はGPA点数
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度				◎			25%	
発表・作品								
演習								
出席				◎			25%	
担当教員	平松 育子			実務経験紹介	ふくふく動物病院 院長			

科目名	動物感染症学・疾病		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	2年後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	無		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	感染症の予防及び治療のために病原体の種類や特徴の知識を得る 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物感染症について知り、動物病院で知識を活用することができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	動物感染症学について原因と症状を知る							
☐ 思考・判断の観点	感染症の症状を見聞きし正しく判断できる							
☐ 関心・意欲の観点	動物感染症について興味を持つ							
☐ 態度の観点	積極的に学んでいる							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
1年の時に行った「動物感染症学・基礎」を復習し、より内容を深めていく								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	細菌とウイルスの違い							
3～4	細菌の構造							
5～6	グラム染色について、糞便検査							
7～8	ケンネルコフの原因菌							
9～10	レプトスピラ、バスタツレラ、ブルセラ、その他の細菌							
11～12	犬糸状虫症							
13～14	犬猫回虫症							
15～16	条虫類（エキノコックス、他）							
17～18	原虫類（トキソプラズマ、他）							
19～20	免疫							
21～22	ワクチン							
23～24	バベシア							
25～26	外部寄生虫							
27～28	鳥類と人の感染症（オウム病、クリプトコッカス）							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1単元末試験								
2小テスト								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介				

科目名	野生動物学	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	無			
授業概要（日時、目標とする資格・検定）	野生動物や外来生物について知り、得た知識を活用する 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書１～6							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	日本の野生動物の現状を知る							
☐ 思考・判断の観点	野生動物と外来生物の見分けがつかようになる							
☐ 関心・意欲の観点	種の保存などに関心を持つ							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1	野生動物とは							
2	野生動物に関わる法律 1							
3	野生動物に関わる法律 2							
4	小テスト							
5	国際自然保護連合 リストカテゴリー							
6	絶滅種と絶滅危惧種							
7	特定外来生物と外来種							
8	鳥獣被害（参照：野生鳥獣による農林水産被害概要）							
9	天然記念物							
10	狩猟（参照：環境省 ハンターになるには）							
11	単元末試験							
12	ワーク							
13	ワーク							
14	ワーク							
15	ワーク							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介				

科目名	動物臨床栄養学・疾病		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	2年後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	無		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	犬猫における疾病時の適切な食事管理を学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	犬猫の栄養管理について知り、動物病院で知識を活用できる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	犬と猫の栄養学（緑書房） 動物看護の教科書1～6（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 疾病ごとの食事管理を知る								
☐ 思考・判断の観点 疾病による強化制限の必要な栄養素がわかる								
☐ 関心・意欲の観点 疾病における栄養素について興味を持ち学ぶ								
☐ 態度の観点 積極的に学んでいる								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
1年で学んだ「動物臨床栄養学・基礎」の復習を行い、各疾患ごとの適切な栄養管理について学んでいく 処方食の出荷単位についても同時に学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	5大栄養素総論							
3～4	ビタミン欠乏症について							
5～6	犬猫に与えてはいけない食事							
7～8	B C S、肥満に関する食事管理							
9～10	糖尿病における食事管理							
11～12	消化器疾患における食事管理							
13～14	心疾患における食事管理							
15～16	肝疾患における食事管理							
17～18	腎疾患における食事管理							
19～20	下部尿路疾患における食事管理							
21～22	皮膚疾患における食事管理							
23～24	アレルギーにおける食事管理							
25～26	関節炎における食事管理							
27～28	高栄養食について							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介				

科目名	動物外科看護学Ⅱ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	2年後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	○		
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物病院に必要な外科の領域について学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物病院における外科対応について知る							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 外科領域について学んだことを実行できる								
☐ 思考・判断の観点 外科領域において学んだことを用い病院で活用できる								
☐ 関心・意欲の観点 外科領域において関心を持っている								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
救急対応及び運動機能障害などについてテキストを用いて進める。また、手術助手についても学び、看護師の役割を学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等			授業の記録	
1～2	救急対応 エマージェンシー							
3～4	救急対応 エマージェンシー							
5～6	救急対応 エマージェンシー							
7～8	救急対応 エマージェンシー							
9～10	救急対応 輸血							
11～12	救急対応 輸血							
13～14	救急対応 中毒							
15～16	リハビリテーション							
17～18	リハビリテーション							
19～20	神経機能障害							
21～22	運動機能障害							
23～24	手術助手							
25～26	手術助手							
27～28	単元末試験							
29～30	解答解説							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	鈴木 和弘			実務経験紹介	ナナ動物病院 院長			

科目名	動物内科看護学		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	2年後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	内科疾患とその看護を学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	内科疾患がわかる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） コンパニオンアニマルの疾患学入門（インターズー） 動物看護ハンドブック（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 動物の臨床看護に必要な知識を習得する								
☐ 思考・判断の観点 動物の呈する病態に関してどのように考え、現状把握し、どうしていくべきかを判断する能力を養う								
☐ 関心・意欲の観点 動物看護師として罹患動物の看護を実践的にとらえる眼を持てるように仕向ける								
☐ 態度の観点 自分の判断一つで病状が変わる恐れがあることを念頭に置き真剣に取り組む								
☐ 技能・表現の観点 積極的に自分の判断で動き、自分の言葉で表現する								
授業計画（全体） 解剖生理学の復習を行いながら内科疾患を学ぶ。 内科疾患を学ぶと同時に、主要薬剤や、検査、療法食や看護についても学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～4	動物の正常な状態を理解する							
5～8	身体検査とは							
9～12	検査処置に必要な技術：検体の取り扱い							
13～16	検査処置に必要な技術：採尿方法・尿検査							
17～20	検査処置に必要な技術：糞便検査							
21～24	注射器の取り扱い・管理方法							
25～28	投薬にかかわる技術：薬の処方							
29～32	投薬にかかわる技術：内服薬の使用方法							
33～36	投薬にかかわる技術：注射薬の使用方法							
37～40	投薬にかかわる技術：投薬後の注意、薬浴							
41～44	輸液にかかわる技術：輸液とは							
45～48	輸液にかかわる技術：各種輸液剤の特徴							
49～52	輸液にかかわる技術：輸液モニタリング							
53～56	輸血にかかわる技術：クロスマッチ							
57～60	輸血にかかわる技術：手技							
成績評価方法 1 出席状況 2 授業態度 3 テストに対する努力・点数 4 1～3の総合評価								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						50%	秀、S（4）：90点以上 優、A（3）：80点以上 良、B（2）：70点以上 可、C（1）：60点以上 不可、E（0）：59点未満 未修得、履修放棄、F （ ）内はGPA点数
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度				◎			25%	
発表・作品								
演習								
出席				◎			25%	
担当教員		平松 育子		実務経験紹介		ふくふく動物病院 院長		

科目名	検定対策	単位数	4	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2年後期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	無			
授業概要（目的、目標とする資格・検定）	動物看護師統一認定試験に向けて、検定対策問題集を行い知識を深める 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	完全対策問題集（インターズー） 完全攻略！問題&解説（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	問題集を解くことで知識理解を深める							
☐ 思考・判断の観点	予想問題を解くことで応用力を深める							
☐ 関心・意欲の観点	わからない問題に対し自ら調べ学ぶことができる							
☐ 態度の観点	積極的に取り組む姿勢がある							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	ガイダンス							
5～56	過去問題及び予想問題を解く、解答解説							
57～60	単元末試験（模擬試験）							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					20%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○				（ ）内はGPA点数
担当教員		岡田 純子		実務経験紹介				

科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義		時間数	60	開設期	2年後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定）	症例検討を行う事で、必要な検査や想定できる二次疾患などについて学ぶ。 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	主訴及び検査データを基に疾病や対応が自分で考えられる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書1～6（緑書房） 犬や猫の動物薬理ハンドブック（緑書房） 動物看護実習テキスト（インターズー） 楽しく学べる動物看護（インターズー）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	症例検討を行い、今までの自らの知識を確認する							
☐ 思考・判断の観点	自らその症例について考える力を身に付ける							
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
主訴及び検査データの書かれているカードを用いて、各自で調べる。主訴より疾患名を導き出し、治療法や検査、飼い主への指導までを調べる。 調べたものは教員が確認し、アドバイスをを行う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～56	症例検討（疾患、血液検査）							
57～60	単元末試験							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴12年			認定動物看護師

科目名	動物臨床検査学実習		単位数	6	科目コード			
授業形態	演習		時間数	90	開設期	2年後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要（目的、目標とする資格・検定）	動物看護師が行う臨床検査について実習を行う 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物看護師が行う臨床検査を正しく行う事ができる							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護実習テキスト 動物看護の教科書1～6							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	自ら指定された検査が行える							
☐ 思考・判断の観点	検査結果を正しく導き出せる							
☐ 関心・意欲の観点	動物病院で行う検査について関心を持ち自ら調べることができる							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点	習った検査を正しい手順で実行できる							
授業計画（全体） 動物臨床検査学で学んだ検査手順を元に検査実習を行う。基本的な手順と観察を繰り返すことで動物看護師が行う検査を身に付ける。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～4	実習の心得と注意事項、顕微鏡操作							
5～8	便検査実習							
9～12	便検査実習							
13～16	尿検査実習							
17～20	尿検査実習							
21～24	耳垢検査実習							
25～28	耳垢検査実習							
29～32	皮膚検査実習							
33～36	皮膚検査実習							
37～40	血液塗抹検査実習							
41～44	便、尿、耳垢、皮膚いずれかの検査実習							
45～48	便、尿、耳垢、皮膚いずれかの検査実習							
49～52	便、尿、耳垢、皮膚いずれかの検査実習							
53～56	単元末試験（実技）							
57～60	解答解説							
成績評価方法 1単元末試験（実技、筆記） 2 3 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴12年			認定動物看護師

科目名	動物看護総合実習Ⅱ		単位数	8	科目コード			
授業形態	演習		時間数	120	開設期	2年後期		
受講条件			開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的・目標とする資格・検定）	動物看護師の一般的な看護業務について学ぶ 目標検定試験：動物看護師統一認定試験							
授業の一般目標	動物看護師として行う動物看護業務が行える							
受講条件								
事前学習について（テキスト・参考書等）	動物看護の教科書１～６（緑書房）							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点 動物病院における動物看護業務を習得								
☐ 思考・判断の観点 自らの知識を基に看護業務が行える								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進めていく 座学で理解した後に実物を用い、実習も含めて理解を深めていく。 就職を意識し、現場ですぐに使える技術と知識を身に付ける。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等			授業の記録	
1～4	周術期の役割							
5～8	手術前準備							
9～12	調剤							
13～16	点滴管理							
17～20	救急救命対応							
21～112	犬または猫を用いた一般身体検査と保定法							
113～116	単元末試験							
117～120	解答解説							
成績評価方法								
1単元末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎	○				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席								（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 認定動物看護師			